

川崎市資産公開等審査会運営要領

(趣旨)

第1条 この要領は、川崎市資産公開等審査会条例（平成5年川崎市条例第37号。以下「条例」という。）第12条の規定に基づき、川崎市資産公開等審査会（以下「審査会」という。）の運営について必要な事項を定めるものとする。

(招集)

第2条 審査会の会長は、条例第3条第1項又は第3項の規定により市長から審査の諮問を受けたときは、速やかに会議を招集するものとする。

2 会議の招集については、会長が各委員にその都度文書で通知するものとする。

(審査の開始)

第3条 審査会は、市長から諮問された審査申出の内容を確認の上、審査を開始する。

(審査の方法)

第4条 審査会は、次の方法により審査を行うものとする。

(1) 書面審査等

- ア 資産等報告書及び資産等補充報告書、所得等報告書並びに関連会社等報告書（以下「資産等報告書等」という。）に基づく書面審査
- イ 文書照会及びその回答に基づく審査
- ウ 疎明資料等の提出要請及び当該提出資料に基づく審査

(2) 出席要請による審査

- ア 審査の対象となった者（以下「審査対象者」という。）からの説明又は意見の聴取に基づく審査
- イ 関係者からの説明又は意見の聴取に基づく審査

(審査結果報告書等)

第5条 審査会は、前条に定めるところにより審査が終了したときは、審査経過、審査結果等を記載した審査結果報告書を作成し、市長に提出するものとする。

(審査会の会議)

第6条 審査会の会議は、非公開とする。ただし、審査対象者に出席を要請し、審査を行うときは公開とする。

2 前項の規定にかかわらず、審査会が必要と認めたときは、非公開の会議を公開と、公開の会議を非公開とすることができる。

3 前項に規定する公開又は非公開の決定は、審査会の出席委員の過半数の賛成を要する。

4 公開する場合における会議において、審査会が会議の秩序を維持するために必要があると認めるときは、傍聴人の人数を制限し、秩序を乱し若しくは不穏当な言動をした者に対して必要な措置を講ずることができる。これに従わない者に対しては、退場を命ずることができる。

(会議録)

第 7 条 審査会の会議録は、会議の概要を記した要点筆記とする。

2 会議録は、会議に出席した委員の承諾を得て確定する。

附 則

この要領は、平成 6 年 2 月 1 日から施行する。